

節分とは、文字通り季節を分ける日で、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指し年4回あるのですが、なぜか「節分=春=豆まき」というイメージが強いですね。

それは旧暦で立春は「春の始まり・新しい年を迎える日」でしたのでその前日は大晦日にあたり、年末の厄払いが「豆まき」という慣習で残されてきたからだと思います。節分の行事は春のみ?

但し、立春の日は年により「3日又は4日」と一日前後のずれが生じるため、節分もそれに伴って「2日又は3日」となる。今年は4日が立春、従って節分は3日である。ちなみに2025年は立春が3日で節分が2日となる。



立春・節分・豆まき!! 鬼?

豆まきは中国から伝来した「追儼」が元と言われている。伝来時期は飛鳥から平安時代と諸説あるが、平安貴族の間では大晦日の「追儼」が年中行事として行われていた。いつの頃からか「豆まき」となって庶民に広まったのは江戸時代中頃でありその豆についての一般説は、

- なぜ豆? ...豆は五穀の中で大きく穀霊も多いから。栄養あり、魔滅・マメとのゴロからとも...
- 殻ごとの落花生をまく地域(雪国に多い)もありそれぞれの風土に合った伝統文化が生まれてきたのでしょう。
- なぜ炒豆? 生の豆は芽が出るから。つまり邪気が芽を出すから。
- いつまく? 節分の夜が良い。家族で・家長が・歳の数だけ食す+1(新年分)もあり。
- なぜ鬼? ..鬼の正体は登場する場面(行事)によって異なるが節分の鬼は「邪鬼」。
- 掛け声? ..この地方では「福は内・鬼は外」。「鬼は内も、福は内のみも、鬼外もあり地域による」

終翹

鬼でなくともいやがります

鬼のパンツはなぜシマシマか?

- 節分と言えば鬼。その鬼のパンツが「黒と黄」のシマシマなのはなぜか。
- 中国では昔から鬼のような悪魔は「丑寅(長うしとら: 北東)の方角からやってくる」と言われていたので、黒は丑(牛)・黄は寅(虎)を表しているとのこと... 鬼門!

追儼が「豆まき」の元祖?

- 追儼は「ついな」と読む。平安の宮中行事として大晦日の夜、鬼に扮した役人を「鬼やらい・鬼やらい」(鬼遣)と唱えながら「矢や五穀・小豆」などをまき宮中を追いかけまわり厄除けと春の福を求めていた。この「追儼」が「豆まき」の元祖でしょう。

♥「郷境争論」と言う肩の凝るような話題が続くので一息入れました

木知原は古来の習俗行事があまり盛んではないと思いませんか。その理由の一つは習俗伝承に大きな役割を担ってきた寺がないことだと思います。外山地区の大きな村で寺が無いのは木知原のみ・七不思議? やっぱり寺洞寺院があり信長に焼き討ちされたのか...

旧暦・節分と節句・伴う諸行事

日本人は伝来の習俗を大和心で日本独自の文化に創りあげてきたが

分かっているようで今一つ曖昧では...定説は無いがその折々に由来と共に先人の暮らしぶりを振り返ってみましょう。



横山